

ルーシーは
爆薬持って
空に浮かぶ

LUCY IN THE
SKY WITH
DYNAMITE

ルーシーは爆薬持って
空に浮かぶ

河野典生
集英社

(12/10刊・¥980)

ジョン・レノンの死と、少年たちの生活を描く、ビートルズ「ルーシー・イン・ザ・スカイ・ウィズ・ダイアモンド」をもじった標題作をはじめとして、計十三篇が収められている。前半七篇がファンタジイ。後半六篇のうち、二篇は会話の中に戦争の影が落ちる小品。二篇は、スナック「犬神屋」に集う人々のユーモア物。最後の二篇が、音楽とそれに関わる少年の物語——そんな構成の作品集だ。各々の作品に、音楽のイメージ(それも、主にジャズ以外の分野)をあてはめている。例えば、「笑い男」に坂田明とWA・HA・HAとか。

印象に残ったのは、『街の博物誌』的な、「ブルースマン」。繁華街の片隅に、ぼっかり開いた世界から、虹色の蝶が舞い上がる、著者お得意の都会ファンタジイ「アンダーグラウンド」。そして、RCサクセションのイメージ「少年たちの夜」、現代の少年たちを描いているのだが、(標題作を含めて)どこか、違った雰囲気もある。あるいは、著者の世代の思い入れが、込められているのかも知れない。全篇を通して、いつもと少し異なる、著者と音楽との関わりが窺えた。

(俊)